

アクションプラン記入シート

A 班

ミッション（宣言）	家族も含めて元気で、明るい会社をつくる！
ビジョン（将来像）	全員が災害ゼロに向く、同じ方向に向けて活動する。

現状分析	1. 転倒災害 ・水などでウエットな床。 ・工場建築時に安全の配慮がされていない。 ・つまづく原因がないか点検している。 ・台車による転倒。高齢の女性に災害が多い。	5. 納期ひっ迫 ・せかされて、ベテランが包丁で手を切る。 ・計画的な生産ができない。 ・時間に追われ、労働者に急がせている。現場のばたつき。
	2, 5 S 4 S ・人によって片付けできる人、できない人がいる。	6. 教育、人間関係 ・何度も注意している労働者がいる。 ・同一人の事故がある。 ・帰り間際の事故が多い。 ・人によって安全に対する気持ちの差がある。 ・いやいや仕事は事故が多い。
	3. ヒヤリハット ・ヒヤリハット報告が出ない。	
	4. 機械設備面 ・慣れている人ほど機械に対する危険を思っていない。 ・新人は「こわい」と感じるが、ベテランが怪我をす	
課題	納期ひっ迫している中で、転倒災害などの労働災害をいかに防ぐか。 どうすれば、みんなが明るく元気に、いやいや仕事をなくせるか。	



ゴール 年度目標・到達点	労働災害ゼロ。
-----------------	---------

スケジュール	課題解決に向けた取組
長期的な取組 （3～5年）	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒災害防止のため、段差をなくす対策。 ・すべりにくい床面に全面改装する。 ・全員が災害ゼロへ向かう活動。 ・納期がひっ迫する状況を改善する業務の見直し、労働時間の見直し。
中期的な取組 （1～3年）	<ul style="list-style-type: none"> ・床に金網を敷くなど、すべらない対策。 ・特に使用する場所の段差解消。 ・従業員全員が最後まで片付ける、拭く、ということができるよう、しつめる。 ・人に「しつけ」ができるリーダーを養成する。 ・提出した「ヒヤリハット」が改善につながる取組。出た意見をリーダーが改善。一人一人の ・ヒヤリハットの最優秀には報奨制度（3～5万円）を設定。横展開につなげる。 ・何でも改善推進チームを立ち上げ、吸い上げた意見をチームで判断する。 ・危険の見える化の取組。
当面（3ヶ月程度） の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間に1回モップふき。 ・すべりやすい所を周知。 ・靴裏の減り具合を月1回にチェック。 ・コードをむきだしで置かない。通路に這わせない。収納ケースに入れる。 ・台車定位置、元に戻す管理、床面に表示する。 ・はみ出し部分がないか、定期的な確認、点検を実施。 ・安全監視員を選任し、点検やヒヤリハット収集を行う。 ・身だしなみをきちんとすること。機械による巻き込まれ災害を防ぐ。 ・なぜ手袋をするのかというように、目的を理解させる教育を行う。 ・朝、明るい職場の雰囲気作りから。 ・コミュニケーションを円滑に。あいさつ。管理職は現場の生の声を聞く。

アクションプラン記入シート

B 班

ミッション (宣言)	安全・安心の職場づくりを行います！
ビジョン (将来像)	従業員が安全に、安心して働ける職場

現状分析	1, 転倒災害 ・非常扉（防火扉）の段差につまづいて、テーブル角に頭部をぶつける災害があった。 ・段差が5ミリ程度でスロープをつけるのが困難。 ・段差をなくす措置をすると非常扉が閉まらず問題。 ・設備改善できない時に、ぶつける要素のあるテーブル角にクッションをつけるなどで対応。 ・床面の濡れに対して、すぐ拭くことを徹底、又は報告を求めているが、作業を優先することがある。 ・床面の拭き取りを、掃除専門のグループで行っているが、日勤勤務のため夜勤対応できない。
	2, 暑さ対策 ・ミスト散水、工場屋根等に散水するも、湿気も発生し、検証中。 ・換気扇、吸気扇を設置するが、虫混入防止のフィルターが必要で、効果が薄れる。 ・スポットクーラーは全体的な冷房効果が薄い。
	3, 設備問題 ・管轄担当部署がないので、業者発注となることから改善が長期化し、対策が後手になることも。 ・設備改善はコストと現場からの生産性、効率性、作業性の主張、食品衛生面での対策もあり、苦慮
	4, 外国人労働者 ・外国人労働者が多く、表示を5カ国語対応にしているが、掲示物が読まれない。（外国人労働者に限った問題ではない）
課題	労働災害の防止対策には通路等の設備改善が伴うが、即時改善が困難。暑さ対策の取組に食料品製造業という特殊がら、対策が講じにくい。



ゴール 年度目標・到達点	労働災害のゼロを目指す、まずは半減にする。
-----------------	-----------------------

スケジュール	課題解決に向けた取組
長期的な取組 (3～5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクアセスメントを定着させ、安全衛生担当部署のみでなく、企業トップの主導によるリスクの低減措置を図る体制を確立する。 ・自動化等の機械設備面での改善。 ・機械メンテナンスが外注になるため、即改善できる体制、業者選定等の実施。 ・転倒災害防止のため、床面床材の見直しや、暑さ対策など大がかりな費用を伴う設備改善。
中期的な取組 (1～3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会等にて、役員や会社トップの主導により、コストがかかる議案についても即時に結論を出せる体制を整える。 ・所定の靴の見直し。5ミリ程度の段差であれば「つまさきが上がっている靴」がある。 ・みぞ蓋など、すべりやすい箇所について、材質をすべらないものに。 ・床面の拭き取りを行う掃除グループの体制整備。 ・ウォータークーラー、冷却ベスト、汗をかいた時のための着替えよう作業着の提供、ネッククーラーと保冷剤交換のための冷凍庫設置等 ・言葉が通じない時や、教育で改善できないことは、『そうせざるを得ない』状況を作り、自然と安全対策を取れる形をとる。 (例) 靴裏の濡れを拭かない。言っても直らない 足ふきマットを必ず通る通路に敷き、必ず拭き取れる状況を作る。
当面(3ヶ月程度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・(直ちに改善困難な)つまづきのおそれのある箇所に、注意表示。クッション設置。絵やイラスト掲示。危険箇所を視覚で訴える。 ・靴裏チェックを定期的の実施する。 ・床面の濡れはすぐに拭くことを徹底、教育する。 ・一定時間ごとに給水と飲料水等の提供。 ・災害事例、不安全行動や要因を説明し、災害が自分の身に起こりうることを理解させる。 ・事業場独自の安全衛生チェックリストを作成し、場内パトロールで活用する。

アクションプラン記入シート

C 班

ミッション (宣言)	安全意識を高め、風通しをよく、声を上げやすい空気。リーダー教育。
ビジョン (将来像)	現場の声を聞き、トップへ。そしてトップからの発信。

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> つまづき、すべり 衝突 ぎっくり腰 熱中症、揚げ物の熱さ 火傷、油はねや機械に触れる 薬品に触れる 機械に指をはさまれる。 せっかちな人が機械にはさまれる。
問題点	<p>人(教育)の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 横のつながりは良いが、縦にまで意見が上がらない。 教育しても継続、定着しない。 慣れてくると周囲が薄れる。 短期アルバイト(慣れていない人)に対する教育。 ベテランの事故、高齢者の段差つまづきが多い。 気持ちの緩む時間帯があるのではないか。 社員も現場に入って周りが見えない。 多国籍のため、声掛けができない。 忙しいと片付けが後回しになる。 従業員に研修内容が行き渡っているか。 注意するとパワーハラと言われる。 <p>設備の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい機械の作業手順の作成。 保護カバー等の非対応、災害発生してから取り付け事後措置となることも。 保護カバー等がずれると、保護具を切ってしまう。 危険シールを貼りすぎて風景化している。作業手順書の風景化。 繁忙期には人、商品が増えて、動線確保が難しい。 <p>仕組みづくりの問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット事例の投書箱を設置しても少ない。 ヒヤリハット事例を投書せずに直接言ってくるのでフィードバックできない。 作業効率や食品衛生上の仕組みは確立されているが、安全対策と相反する面がある。



ゴール 年度目標・到達点	休業災害ゼロ。従業員の意識を高める。
-----------------	--------------------

スケジュール	課題解決に向けた取組
長期的な取組 (3~5年)	設備導入など、中期的な取組で吸い上げた意見を元に、トップ自らが安全衛生対策に取り組める体制づくり
中期的な取組 (1~3年)	<p>人(教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理者に対する教育、現場でのコミュニケーションを定着させる。 視覚で訴える。写真等を活用した作業手順書の確認。年1回のDVD研修を定期的開催。 安全衛生委員会の構成員について、新入社員や各部署からの出席を行い、改善提案を行う。 安全監視委員を選任し、一定の権限で改善に取り組める体制整備。 <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険箇所の洗い出しを行い、危険箇所への保護具設置等を検証する。 繁忙期を見据えた人、物の配置を検討するため、レイアウト変更を含めた検証を行う。 <p>仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットで有効なものに報償、物品提供、金一封など。 トップの意識を高める、従業員にメッセージで伝える。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> スポットクーラーの設置、ネッククーラーの配布と保冷剤交換のための冷凍庫等設置。 ハザードマップの作成と周知。 作業台の見直し。腰痛対策。 立ち仕事での疲労軽減マットの敷設。 グリップの効く長靴を無償提供。
当面(3ヶ月程度)の取組	<p>人(教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全パトロールに、パート、アルバイトのリーダーや営業社員を加えるなど、構成員を見直し 機械を止める、動かす時の声掛け、機械を止めてからメンテナンスを行うよう声掛け。 朝礼、夕礼でのリーダーからの声掛け。 入社時教育での、災害発生事例の説明。 <p>仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場を巡回しての声掛け。ヒヤリハットのヒアリング。現場での声掛け。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓蒙ポスター掲示、垂れ幕設置。イラストを使用した張り紙。 段差や低い天井にトラロープなどの表示。注意喚起。 通路方向を決め、通路センターで色を変えての矢印表示を行う。 台車の定位置を決めて管理する。動線を確保する。 腰痛対策の体操、重量物を持ち上げるときの腰の安全ベルト使用。